

## 富山県がん診療地域連携拠点病院（県指定）申請病院の現況（R5. 4. 1 時点）

	富山労災病院	富山赤十字病院	富山市民病院	済生会高岡病院	高岡市民病院
<b>1 診療体制</b>					
<b>(1) 診療機能</b>					
①集学的治療等の提供体制及び標準的治療等の提供	○	○	○	○	○
②手術療法の提供体制	○	○	○	○	○
③放射線治療の提供体制	○	○	○	○（連携）	○
④薬物療法の提供体制	○	○	○	○	○
⑤緩和ケアの提供体制	○	○	○	○	○
⑥地域連携の推進体制	○	○	○	○	○
⑦セカンドオピニオンの提示体制	○	○	○	○	○
<b>(2) 診療従事者</b>					
①医師の配置(内訳別紙1)	○	○	○	○	○
②医師以外の診療従事者の配置(内訳別紙1)	○	○	○	○	○
<b>(3) 医療施設</b>					
①治療機器および治療室等の設置	○	○	○	○（連携）	○
②敷地内禁煙等	○	○	○	○	○
<b>2 研修の実施体制</b>	○	○※1	○	○	○
<b>3 情報の収集提供体制</b>					
(1)がん相談支援センター	○	○※2	○	○※2	○
(2)院内がん登録	○	○※3	○※3	○	○
(3)情報提供・普及啓発	○	○	○	○	○
<b>4 臨床研究及び調査研究</b>	○	○	○	○	○
<b>5 PDCA サイクルの確保</b>	○	○	○	○	○
<b>6 医療に係る安全管理</b>	○	○	○※4	○	○
<b>7 診療実績(努力規定)</b>	別紙2参照				

注) ○：指定要件を充足

連携：他の医療機関との連携協力により放射線治療を提供

※1：緩和ケア研修会について、院外への受講勸奨予定

※2：がん相談支援センターに専任実務者（国立がん研究センター研修修了者）を配置予定

※3：院内がん登録室に専任実務者（国立がん研究センター研修中級認定者）を配置予定

※4：医療安全管理部門に専任の常勤薬剤師を配置予定

各診療従事者の状況

別紙1

		富山労災病院	富山赤十字病院	富山市民病院	済生会高岡病院	高岡市民病院
1 医師の配置	① 手術療法に携わる常勤の医師(1人以上)	○	○	○	○	○
	② 専任の放射線診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師(1人以上)	○	○	○	○	○
	③ 専従の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師(1人以上)*	○	○	○	連携	○
	④ 専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師(1人以上)	○	○	○	○	○
	⑤ 緩和ケアチームに専任の身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師(1人以上)	○	○	○	○	○
	⑥ 緩和ケアチームに精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師(1人以上)	○	○	○	○	○
	⑦ 専従の病理診断に携わる常勤の医師(1人以上)	○	○	○	○	○
2 医師以外の診療従事者の配置	① 専従の放射線治療に携わる常勤の診療放射線技師(1人以上)*	○	○	○	連携	○
	② 専任の放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる常勤の技術者等(1人以上)*	○	○	○	連携	○
	③ 放射線治療室に専任の常勤の看護師(1人以上)*	○	○	○	連携	○
	④ 専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の薬剤師(1人以上)	○	○	○	○	○
	⑤ 外来化学療法室に専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師(1人以上)	○	○	○	○	○
	⑥ 緩和ケアチームに専従の緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師(1人以上)	○	○	○	○	○
	⑦ 専任の細胞診断に係る業務に携わる者(1人以上)	○	○	○	○	○

注)\*: 自施設で放射線治療を実施する場合の必須要件

○: 充足、連携: 他の医療機関との連携協力により放射線治療を提供

診療実績等(R4.1.1～R4.12.31)

	医療圏名	病院名	年間入院患者数の状況		診療実績①					診療実績②	相談支援センター
					院内がん登録	手術件数	がんに係る薬物療法	放射線治療	緩和ケア	診療の割合	
			年間入院がん患者数	年間入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	院内がん登録数(年間) <u>500件以上</u> (R3)	悪性腫瘍の手術件数(年間) <u>400件以上</u>	のべ患者数(年間) <u>1,000人以上</u>	のべ患者数(年間) <u>200人以上</u>	緩和ケアチームの新規介入患者数(年間) <u>50件以上</u>	当該2次医療圏に居住するがん患者の診療の割合(%) <u>2割程度</u>	相談件数(年間)
1	新川	富山労災病院	521	12.8	308	275	775	30	33	22	206
2	富山	富山赤十字病院	1,777	18.7	837	463	709	174	134	15	100
3		富山市民病院	1,208	13.0	702	430	1,606	121	87	12	893
4	高岡	済生会高岡病院	353	8.7	236	164	231	0	31	5	55
5		高岡市民病院	801	12.1	485	326	865	76	161	16	48
合計			4,660		2,568	1,658	4,186	401	446		1,302

# 富山県がん診療地域連携拠点病院としての取り組み

病院名：富山労災病院

## 1. 診療実績を増加させるための取り組み

当院は、「アスベストによる健康被害についての国民の不安への対応を行う」という政府の指示の下、北陸地域で唯一のアスベスト疾患センターを設置し、特殊健診を実施しています。アスベスト暴露をされた方や家族はもちろんのこと、アスベストに関する不安やお困りをお持ちになっておられる一般住民や関係する医療関係者に向けて情報提供を行っています。相談窓口を設置し、速やかに精査できる体制をとっています。これらの取り組みは石綿肺がん及び中皮腫等悪性疾患に対する診療実績に直結します。

がん認定看護師が中心となり魚津市立図書館と連携し、癌の啓発に関する掲示を毎年1か月間行っています。

魚津市及び近隣の住民に対し毎月広報誌を配布し、ケーブルテレビで当院の取り組みをお伝えしています。

当院と魚津市医師会の間で病診連携の会を定期的に行い、個々の症例を踏み込んで検討しています。

労災病院として産業医が中心となり新川地区の各企業の労働者への健康管理に尽力し、その一環として対がんを含めた健診事業や啓発を行っています。

## 2. 当院の特徴的な取り組み

当院は、「アスベストによる健康被害についての国民の不安への対応を行う」という政府の指示の下、北陸地域で唯一のアスベスト疾患センターを設置しています。過去に、アスベストばく露を受けてしまわれたため、生涯にわたりアスベスト関連疾患（石綿肺がん及び中皮腫等）の発症リスクが高い、離職者及び現役労働者に対して疾患の早期発見を目的とした健診（受診者数は、年に延べ1000人弱）をおこなっています。健診で異常を認めた方々への精査、診断、治療を迅速かつ円滑に行っています。診断がついた患者様の中で、国の認定要件を満たす患者様が、迅速適正に、かつ隙間のない労働災害（労災）などの国の救済制度を受けることが出来るように援助しています。

労災病院としてがん治療と就労の両立支援に対し積極的に取り組んでいます。

消化器がんや泌尿器がんに対し腹腔鏡手術を積極的に導入しています。腹腔鏡下前立腺手術については厚労省の認可を受け実施しています。新川医療圏で唯一の泌尿器癌腹腔鏡手術実施施設です。

肺がんに対してアスベスト疾患センターの診療体制を活用し、迅速適正な精査や治療が提供できる体制をとっています。

膀胱がんへの膀胱内薬液注入療法や腎盂がんへの腎盂内薬液注入療法を、がん化学療法認定看護師を中心とした多職種で通院治療室を用いて外来通院診療で提供しています。

日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修施設としてがん化学療法に力を入れています。遺伝子検査を用いた抗がん化学療法が迅速適切に行いうる体制をとっています。

金沢大学放射線科と症例個々の検討を行ったうえで放射線治療を行っています。化学療法や手術治療を組み合わせた集学的治療を行っています。

各症例に対しがん特定看護師が参加し、多職種によるがん治療を提供しています。

# 富山県がん診療地域連携拠点病院としての取組み

病院名：富山赤十字病院

## 1. 診療実績を増加させるための取組み

放射線ののべ患者数が 150 件程度にとどまり件数が伸び悩んでいる状況だが、地域医療連携課を活用してかかりつけの診療所や他病院と連携をとりながら紹介患者を増やし、積極的ながん治療、放射線治療を行い目標とする 200 件に到達できるよう努めてまいります。

## 2. 当院の特徴的な取組み

診療体制において、安全で適切な医療の提供に加え、治療に関する医療相談、医療費や在宅療養に関する相談、がんに対する不安や悩みなどに専門の看護師が対応しております。

患者支援センターを設立しており、病院と地域の医院・診療所がお互いスムーズな連携を図ることができるよう地域連携を強化し、常に協力できる体制を整えております。

また、血液悪性疾患の治療においては県内で 1, 2 位の実績であり今後更に充実させていきます。

当院の大きな特色は、緩和ケアであると考えております。地域の診療所との連携はもとより、付帯事業である訪問看護ステーションに看護師・作業療法士を配置し、患者本人や家族が安心して在宅で暮らせるよう 24 時間対応体制や在宅緩和ケアを行っています。

また、コロナ禍で休止していた緩和治療病棟を、2023 年 5 月 8 日より再開予定としており、専門的視点で緩和する治療やケアを行ない、毎日を穏やかに過ごせるよう患者さんを支援していく予定です。

「緩和治療外来」「緩和ケアチーム」「緩和治療病棟」「在宅緩和ケア」の 4 本柱で緩和ケアを提供できる体制が当院の特色であり強みであると考えております。

# 富山県がん診療地域連携拠点病院としての取組み

病院名：富山市立富山市民病院

## 1. 診療実績を増加させるための取組み

令和2年度から放射線治療の専門医が常勤となり、治療中の患者さんへの定期診察や有害事象への対応、治療計画の変更などが速やかに行える体制を整えています。治療には、高性能のIMRT（強度変調放射線治療）専用放射線治療装置を導入しており、正確かつ集中的な照射や、広範囲に散らばった複数病変への同時治療が可能になるなど、患者さんの副作用や負担の少ない安全で高度な治療を提供できます。

県内有数の化学療法件数に対応するため、外来治療室を拡充し専門スタッフを充実させるとともに、化学療法部会を毎月開催し、レジメン登録審査だけでなく安全でレベルの高い化学療法をめざし多職種スタッフで検討しています。

がん看護専門看護師や緩和ケア認定看護師、乳がん看護認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を持った専門スタッフを充実させており、患者さんに優しい質の高い看護ケアを提供できる体制を整えています。

外科医の増員による消化器がん手術件数の増加が見込め、外科のがん診療体制も大きく改善しており、これまで以上に高難度のがん手術を行っています。

緩和ケア医や病理医、その他多職種が参加するキャンサーボードや地域連携症例検討会などを通じ、紹介していただいた地域の先生方へ当院の治療経験などについてフィードバックし、がん患者さんをより多く紹介していただけるよう努めています。

がん相談支援センター「がん何でも相談室」を1階に開設しており、患者さんやそのご家族など、どなたでも相談に応じ、病気や治療方針に関する相談やセカンドオピニオン、訪問診療や介護に関する相談などを受けています。

## 2. 当院の特徴的な取組み

当院は、診療実績をほとんど満たしており、令和4年度の緩和ケアチームの新規介入患者数は87人で、基本的緩和ケアの底上げを図っています。

がん看護専門看護師やがん関連の認定看護師は、がんと診断された時から介入し、外来から入院まで患者さんに寄り添った看護ケアを提供しています。退院後も訪問看護師と一緒に同行訪問するなど、専門性の高い継続した支援を行っています。

令和2年度に手術部門の増築工事が完成し、より高度な手術を安全にできるようになりました。肺がんの手術では約95%を完全胸腔鏡手術で行い、再発が少なく回復も早いため、進行期においても術後に薬剤治療や放射線治療へ円滑に移行することができます。また、手術において準備する輸血製剤や血液製剤を全て患者さん自身の自己血から作成することにより、より安全で医療コストの抑制にもつながる独自の取組も行っています。

職員が講師となり、病気や健康に関する様々なテーマについて話す「ふれあい健康講座」では、がんの特化したテーマを月2回程度設定しており、参加者のがん検診の促進や、正しいがんの知識の提供に努めています。

# 富山県がん診療地域連携拠点病院としての取組み

病院名：富山県済生会高岡病院

## 1. 診療実績を増加させるための取組み

令和2年1月より、ドック健診センターにて、早期発見が難しいとされるすい臓がん、胆道がんを含む4つの消化器系がんを遺伝子レベルで判定する「マイクロアレイ血液検査」を導入いたしました。この検査でがんが発見された患者は当院の消化器内科に紹介し、治療を行います。早期食道がん、早期胃がん、早期大腸がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術や、進行した消化器がんに対する化学療法（抗がん剤治療）を積極的に行い、放射線診断技術の治療的応用に関しては、常勤の放射線科専門医と連携し、肝臓がんに対する肝動脈化学塞栓術などを施行しています。

また、令和4年2月より、現在がんである可能性を評価する「アミノインデックス リスクスクリーニング検査」を導入いたしました。がんに罹っているという確定診断ではなく、あくまでがんにかかっているかもしれないという可能性の把握ですが、血液検査によりがんにかかっている可能性のある患者には、内科や外科、泌尿器科、産婦人科など複数の診療科が密に連携し、各種検査を施行いたしますので、手術を視野に入れた精査症例、その他いろいろなケースにも迅速に対応できます。

これら2種類の検査を導入したことにより、早期にがん患者を発見し、手術件数、化学療法件数増加に繋がっております。

さらに、地域医療連携室の機能を強化し、高岡医療圏内の医療機関に限らず、近隣市町村の診療所や大学と連携を深め、紹介・逆紹介患者の増加に務めたことによりがん患者の紹介の増加に繋がりました。

## 2. 当院の特徴的な取組み

当院は、高岡市医師会、射水市医師会、砺波医師会、小矢部医師会との病診連携、特に在宅・緩和医療連携を推進しています。

病院から在宅への継続した医療の提供や連携を行っており、在宅緩和ケアが必要な患者には「緩和ケアカード」をお渡しし、病院・訪問看護ステーション事業所ともに24時間連絡が取れる体制を整備しております。夜間などの緊急時にも迅速に対応できるため、患者は安心してご自宅でご家族とともに療養いただけます。

また、外科外来では緩和ケア外来や訪問診療などを積極的に取り組み、疼痛管理・症状緩和・精神的支援を含めたケアを提供しております。

乳がん看護認定看護師や緩和ケア認定看護師によるきめの細かいケアも行っており、医師に相談しにくいことを認定看護師に相談できる環境は、患者から好評を得ています。

# 富山県がん診療地域連携拠点病院としての取組み

病院名：高岡市民病院

## 1. 診療実績を増加させるための取組み

当院は、女性のがんに対する診療に強みを有しています。日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医などの婦人科系専門医を多く配置しており、卵巣がんや子宮がんの診療を得意としています。

また、近年増加傾向にある乳がんに対しては、乳腺専門医や、乳がん看護認定看護師、検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師などの専門スタッフによるチーム医療で、検診・早期診断・乳房再建術まで対応しており、乳がん患者会（ハッピーリボン）も活動しています。

その他、前立腺がんや大腸がんに対するロボット支援下手術を導入し、より低侵襲な手術を目指しています。

一方、当院は、認知症疾患医療センターと精神科病棟を併せ持つ県内唯一の病院としての特徴も有しています。認知症疾患医療センターでは、出前講座を行い、市民に認知症への理解を深めてもらうとともに、認知症を伴うがん患者について、安心して受診してもらえるよう情報発信を行っています。

また、認知症を伴う患者に対しては、神経内科専門医等からなる認知症ケアチームを組織し、症状レベルの確認やQOL向上のためのアドバイスなどの対応を行っています。また、精神科専門医による重篤な精神疾患を有するがん患者への対応ができる体制を整えています。

## 2. 当院の特徴的な取組み

当院はこれまで、緩和ケア病棟の開設、包括的がん医療センターの設置、外来化学療法室の移転拡充、放射線治療装置（リニアック）や、内視鏡下手術支援ロボット（ダヴィンチ）の導入など、予防から集学的治療、緩和ケアまで切れ目ないがん診療体制を構築してまいりました。

また、令和4年4月には専従の緩和ケア内科の常勤医師を配置し、診療実績の向上にも努めています。

今後は地域連携をより一層強化することによって、紹介がん患者の獲得に努めるほか、「富山県がん診療地域連携拠点病院」として、高岡医療圏内の国指定病院、県指定病院、地域の診療所との連携協力を図りながら、当院の特徴を踏まえたがん診療体制をさらに機能強化し、地域住民が安心して質の高いがん診療を受けられる地域完結型医療の実現を目指してまいります。